

会計別予算額

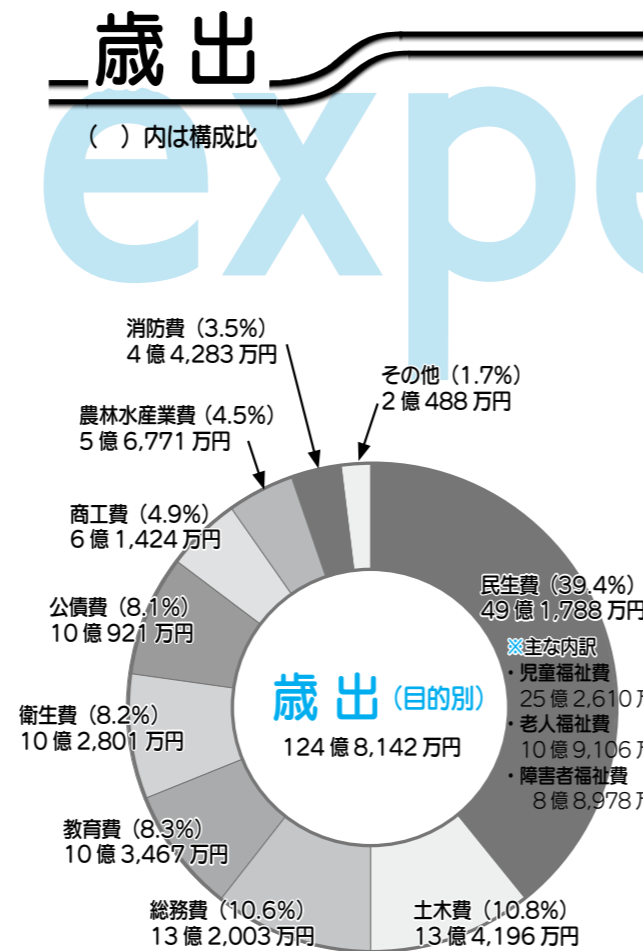
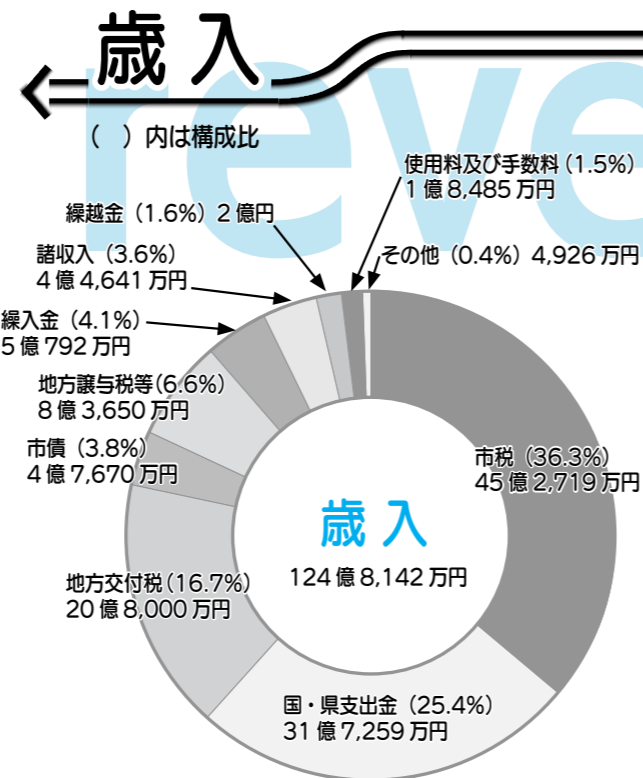
会計名	令和4年度予算額	前年度比
一般会計	124億8,142万円	△8.1%
特別会計	70億8,251万円	4.7%
国民健康保険事業	30億1,264万円	10.2%
後期高齢者医療事業	8億9,660万円	2.4%
介護保険事業	31億7,296万円	0.5%
工業団地造成事業	31万円	13.8%
企業会計	36億2,222万円	△1.1%
水道事業	6億3,311万円	△3.7%
下水道事業	29億8,911万円	△0.5%
総合計	231億8,615万円	△3.4%

用語解説

- 一般会計**……市税収入を主な財源として、福祉、保健衛生、土木、教育、消防など市の仕事の大部分をまかなう会計です。
- 特別会計**……特定の事業を行う場合や特定の収入を特定の支出に充てる場合、一般会計とは別にその経理を明らかにするために設けられた会計です。
- 企業会計**……民間企業と同じように、事業によって得た収入で支出をまかなう独立採算を原則とする事業について設けられた会計です。
- 市税**……市民の皆さんや法人が市に納める税金で、市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税を総称したものです。
- 国・県支出金**……いろいろな事業に対する国・県からの補助金、交付金などです。
- 地方交付税**……全国の市町村が等しく事務を行えるよう、一定の基準により国から交付されるお金です。
- 地方譲与税等**……国税として徴収された特定の税収を、一定の基準により市町村に譲与される税金や各種交付金などです。
- 繰入金**……各基金から一般会計に繰り入れるお金です。
- 民生費**……高齢者、障がい者、児童の福祉や生活保護に使われます。
- 土木費**……道路、公園、市営住宅などの建設や管理に使われます。
- 総務費**……市の全般的な管理、企画や選挙、戸籍・住民票事務などに使われます。
- 教育費**……小・中学校、公民館の運営や、文化・スポーツの振興などに使われます。
- 衛生費**……ごみ処理や環境保全、市民の健康増進などに使われます。
- 公債費**……借り入れた市債の元金・利子などの償還に使われます。
- 商工費**……商業や工業、観光の振興などに使われます。
- 農林水産業費**……農業や林業、水産業の振興などに使われます。
- 消防費**……消防、救急活動などに使われます。
- 扶助費**……社会福祉制度の一環として、児童・高齢者・障がい者・生活困窮者などの支援に必要な経費です。
- 人件費**……職員の給与や議員への報酬などの経費です。
- 物件費**……委託料、光熱水費、消耗品費などの経費です。
- 補助費等**……負担金、補助金などの経費です。
- 繰出金**……一般会計から特別会計へ繰り出される負担金などの経費です。
- 普通建設事業費**……道路や公園、学校など公共施設を整備するための経費です。

一般会計

124億8,142万円



一般会計・特別会計・企業会計を合わせて

総額 231億8,615万円

歳入の特徴

昨年と比べ経済活動が緩やかに回復しつつあるものの、個人市民税・法人市民税については前年度並みとするほか、固定資産税については、感染症に起因する減税措置が終了することから前年度比4.7%の増になるものと見込み、市税全体では前年度比3.8%の増としました。

また、地方交付税については、国による譲与税等の収入見込みが増となるほか、臨時財政対策債発行可能額の大幅な減少が見込まれることから、前年度比7.8%の増と見込み、歳入全体では各種基金の取り崩しなどにより財源の確保に努めました。

歳出の特徴

これまでの子ども施策を継続し、国の保育料等無償化の対象とならない副食費や0歳児から2歳児の第2子以降の保育料の無料化、高校生等医療無料化などは引き続き実施することとしています。

また、先の見えない感染症への対策として、ワクチン接種の実施をはじめ、これまで取り組んできた市独自のPCR検査体制の維持、地域の経済対策として、プレミアム付商品券の発行や飲食店向けキャッシュレス決済促進事業、市内宿泊者に対する観光応援クーポンの発行に加え、ひとり親家庭への給付金の支給など市独自の施策を実施します。

さらには、昨年より計画的に実施している中野島坪川線道路改良や通学路となっている市道路線の改良、高規格救急車や消防分団ポンプ車の更新などを行うこととしているほか、多くの方にご利用いただいているフットボールセンター富山の人工芝張り替え工事などについても予算化を図りました。

令和4年度 予算 算

充実した子育て支援施策の継続実施
万全な感染症対策と経済活性化の両立

※8～9ページで、実際にどのような事業を行うか、主なものをご紹介します。

令和4年度の一般会計は124億814.2万円、前年度比8.1%（10億939.9万円）減、国民健康保険事業や水道事業などの特別・企業会計は107億473.3万円、前年度比0.3%（2億772.2万円）増となりました。また、一般会計特別・企業会計を合わせた総額は231億861.5万円、前年度比3.4%（8億211.7万円）減となっています。

新型コロナウイルス感染症への対応に万全を期し、昨年引き続き、感染防止対策として実効性の高い施策を推進すると共に、子ども子育て支援、消防・防災力の強化、道路改良など、市民福祉の向上のための諸施策を盛り込んだ義務的経費を中心とした「準備格予算」として編成しました。

主な事業

令和4年度予算で実際にどのような事業を行うのか、新たな取り組みを中心に紹介します。
 ☆は新規・拡充事業

総務費

令和4年度予算で実際にどのような事業を行うのか、新たな取り組みを中心に紹介します。
 ☆は新規・拡充事業

令和4年度予算で実際にどのような事業を行うのか、新たな取り組みを中心に紹介します。
 ☆は新規・拡充事業



防災対策推進

市有施設や避難所における感染症対策用備品の整備や非常食等の備蓄品の更新を行います。また、洪水や津波による被害が想定される地域への防災資機材整備費用を助成します。

農林水産業費

新規就農に向けた経営開始資金の助成や農業経営の継承・発展に向けた取り組みを支援し、農業者の育成及び経営体の確保を図ります。



6次産業化の推進や農業機械の導入助成、海洋深層水トマトなどの地域特産物の生産を推進するなど各種事業を実施します。

商工費

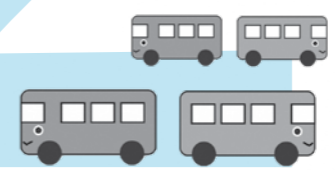
市内で利用可能なプレミアム率20%の商品券を発行し、地域経済の活性化を図ります。

コミュニティバス運行

地域間の交流促進や高齢者など市民の交通手段を確保するため、年末年始の3日間を除き毎日運行します。

☆地域公共交通計画策定

市内公共交通の現状を分析し、コミュニティバスの運行体系の抜本的な見直しを図ると共に、新たな公共交通の導入を含めた地域公共交通計画を策定します。



民生費

在宅の障がい者などを対象に、入浴や理容・美容にも利用できる福祉利用券を給付するほか、障がい者の生活行動範囲の拡大・社会参加促進を図るため、障がいの程度に応じてタクシーの利用券またはコミュニティバスの乗車券を給付します。

飲食店向けキャッシュレス決済促進事業

市内店舗等における非接触型の決済方式の導入を促し、キャッシュレスによる新しい生活様式の推進と地域経済の回復を図ります。



☆市内観光応援事業補助金

市内宿泊施設の宿泊者に対し、市内で利用できるクーポン券を発行します。



観光遊覧船運航事業

観光遊覧船キラリンを運航し、富山湾岸クルージングや、ほたるいか海上観光を行います。

第2子の保育料等完全無料化

子育て世帯の経済的負担を軽減するため、国の保育料等無償化の対象とならない3歳未満の第2子の保育料について、市単独での無料化を継続します。(所得制限なし) ※事業費には一部教育費が含まれます。

☆保育対策総合支援事業

医療的ケアが必要な児童に対し、看護師等の配置を行う保育所等を支援します。また、保育所等におけるマスクや消毒液などの衛生用品、感染症予防用品などの購入費を補助します。



子ども・妊産婦医療給付

妊産婦及び中学校修了前までの子どもの入院・通院医療費を無料にします。(所得制限なし)



土木費

歩行者や車両の交通安全確保を図るため、踏切及び道路の改良工事を進めます。

歩行者や車両の交通安全確保を図るため、踏切及び道路の改良工事を進めます。

☆空き家対策推進事業

空き家相談会の開催や空き家バンクホームページ等で情報発信を行うことにより、空き家の予防や利活用を促進します。



☆公園施設等整備事業

滑川海浜公園の整備や各公園施設の長寿命化対策を行います。



高校生等医療給付

高校生などを持つ世代の支援を充実させるため、高校生等の入院・通院医療費の無料化を継続します。(所得制限なし)

☆ひとり親家庭臨時給付金

新型コロナウイルス感染症による影響を受けているひとり親家庭を支援するため、児童扶養手当を対象に給付金を支給します。



衛生費

発熱外来開設支援事業
 新型コロナウイルス感染症に対応するため、発熱外来の休日実施に対し支援金を支給し、地域医療体制の維持を図ります。



医療対策事業

市内唯一の公的病院である厚生連滑川病院に対し、質の高い医療体制の維持・充実を図るための経費を助成します。

消防費

緊急時に救命措置が迅速に行えるよう、高規格救急車を更新します。また、消火栓標識の整備を行います。



☆消防分団施設整備

緊急時に機動的な消火活動が行えるよう、第一分団ポンプ車を更新します。また、各地区分団話所の修繕を行います。



健康増進事業

市民の健康増進を図るため、健康手帳の配布や健康教育、各種健康診断などを実施します。また、50歳から5歳刻みに75歳までの全市民を対象に、胃、肺、大腸がん検診の無料クーポン券を配布し、受診率向上を図って健康寿命延伸につなげます。

☆PCR検査等感染予防対策事業

無症状でも新型コロナウイルス感染症への不安がある市民に対して、希望に応じてPCR検査を実施します。また、市広報誌等で感染予防の普及啓発を行います。



新型コロナウイルスワクチン接種事業

コロナ禍からの早期脱却に向け、3回目の追加接種及び小児接種を行い、感染及び重症化のリスクを軽減します。



☆展覧会等開催

県指定史跡「本江遺跡」の指定50周年を記念して、特別展「本江遺跡展(仮題)」を開催します。また「新川の町絵図展(仮題)」などの展示を開催します。



☆フットボールセンター富山整備

サッカーコートの人工芝張り替え工事を行います。



教育費

☆GIGAスクール運営支援事業

学校情報教育のサポート体制を強化するため、支援センターを設置します。また、GIGAスクール用ネットワークの改修等を行います。

